

演題 へ特別講演へ

プログラム

会長挨拶

一 蘭医、長崎浩斎の年譜記録……寺畑 喜朔(金沢市)

二 金沢初の私立病院

「集誠病院」について……多留 淳文(金沢市)

三 加越能文庫(文書)にみられる

医事史料、黒川良安関係史料……正橋 剛二(富山市)

四 金沢大学医学部解剖学教室

歴代教授の墓所と遺族……中村 俊雄(金沢市)

五 明治初期の衛生学書……橋本 和夫(金沢市)

六 皮膚科学者……土肥章司……長門谷洋治(豊中市)

七 草深甚四郎の伝記に記された「血留の法」と

アンブロアス・パレの外科書に見られる

「間接的皮膚縫合術」の伝来をうかがわせる

「金瘡書」について……加藤 豊明(金沢市)

八 『枕草子』の中の医学……白崎昭一郎(福井市)

九 白穂和尚著「夜船閑話」

巻上の紹介……加藤 豊明(金沢市)

特別講演

大野藩の医学……岩治 勇一(評議員)

例会記録

四月例会 平成三年四月二十七日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 アンブロアス・パレ像の作者ダヴィッド・ダンジエーと

医人達 大村 敏郎

一 『紅夷外科宗伝』等の金創跌撲図への、十七世紀ドイツ

外科書 Armentarium Chirurgicum の投影 蒲原 宏

一 済生学舎廃校後の私立医学校の流れ 唐沢 信安

六月例会 平成三年六月二十二日(土)

順天堂大学医学部九号館一番教室

一 フロレントス・ナイチンゲールミュージアムの活動の

一端 山根 信子

一 三浦環と主治医三浦謙之助 我部 正彦

一 『金瓶梅』にみる中国医学と道教 吉元 昭治

例会抄録

木簡にみられる「医史学」的記述について

千葉県立中央博物館歴史科 樋口誠太郎

一、はじめに

木簡というと藤原京や平城京から発掘されたものだけと思われる  
ている様であるが、次の表1に示した如く戦前から、しかもかな  
り広範囲から出土している。しかも木簡は古代から中世までかな